

2013年度（対象年度：2012）自己点検・評価シート【大学全体の視点】

基準 7	教育研究等環境
------	---------

自己点検・評価

1. 点検・評価項目等に基づく状況確認 《評定形式》

自己評価欄に「A：適切に実行している」「B：概ね実行している」「C：あまり実行していない」「D：実行していない」の4段階で記入してください。

項目 No.	評価項目	点検項目	自己評価	
			個別	総合
704	教育研究等を支援する環境や条件は適切に整備されているか。	教育課程の特徴、学生数、教育方法に応じた施設・設備の充実を図っていますか。	A	A
		TA等の教育支援体制の整備について充実を図っていますか。【どのように】	B	

2. 現状説明 《記述形式》

対象年度における取り組みを、点検・評価項目の観点から、改善状況を含め総括してわかりやすく説明してください。点検項目欄【どのように】と記載のある項目は、取り組み内容を具体的に、記述してください。

策定した「教育研究等施設の整備に関する方針」に基づき、施設・設備の充実を図っている。具体的には、各キャンパスの立地条件及び各学部の教育課程の特徴等を踏まえつつ、年次計画に基づく整備を図っている。近年では、新棟の建設など、さらなる教育施設・設備の充実を目指し、その拡充を図っている。また、学生が講義時間外に教員に相談できる Learning Crossroads を深草学舎に、学生の書く・考える力を育成するためのライティングセンターを瀬田学舎に設置している。

「教育補助員・TA・チューター制度の運用ガイドライン」を整備し、これに基づき、教育上必要とされる教育補助員・TAを適切に雇用している。

[改善すべき点の確認] 前回の点検・評価で、自ら「改善すべき点」と掲げた事項や、評価結果で「改善すべき点（【改善勧告】【努力課題】【留意点】）」とされた事項があれば、この欄に箇条書きで記載してください。

特になし

3. 効果が上がっている点とその伸長方策 《箇条書き》

現状説明を踏まえ、効果が上がっている事項（特色ある取り組みや成果創出など）とその伸長方策を記述してください。

特になし

4. 改善すべき点とその改善方策 《箇条書き》

現状説明を踏まえ、改善すべき事項とその改善方策を記述してください。

特になし

5. 根拠資料 《リスト形式》

項目 No.	根拠資料の名称
704	2012年度授業使用教室の希望調査について（依頼）
704	教育補助員・TA・チューター制度の運用ガイドラインについて

評価結果

総評
<p>施設・設備の充実については「教育研究等施設の整備に関する方針」に基づき、TA等の教育支援体制の整備については「教育補助員・TA・チューター制度の運用ガイドライン」に基づき行っていることから、適切に整備されていると評価できる。</p> <p>ただし、新1号館周辺に展開するラーニングコモンズや学修支援の充実にともない、院生のみならず学部生の教育支援への参画が急激に増加することが予想される。教育補助員・TA・チューター制度についても、ガイドライン策定時に比して教育支援のあり方は変化しているので、役割や報酬等について、他大学を調査し、見直すことも必要であると考え。</p>
伸長すべき点(長所) (箇条書き)
<p>・施設・設備の充実については「教育研究等施設の整備に関する方針」に基づき、TA等の教育支援体制の整備については「教育補助員・TA・チューター制度の運用ガイドライン」に基づき行っていることから、適切に整備されていること。</p>
改善すべき点 (箇条書き) * 各項目に【改善勧告】【努力課題】又は【留意点】を記載
<p>・新1号館周辺に展開するラーニングコモンズや学修支援の充実にともない、院生のみならず学部生の教育支援への参画が急激に増加することが予想される。教育補助員・TA・チューター制度についても、ガイドライン策定時に比して教育支援のあり方は変化しているので、役割や報酬等について、他大学を調査し、見直すことも必要であると考え。【留意点】</p>
[改善勧告]【努力課題】は、改善計画書の提出が必要